

学校支援を積極的に進めよう

—生徒の健全育成を支援するPTA活動—

豊橋市立高師台中学校PTA

1 学区及び学校の概要

本学区は、豊橋市の中心からやや南部にあり、学区北部は主に住宅地域、南部は主に農業地域で、学区の中央を梅田川が流れている。高いビルや建物がなく、学校上階からは学区一円が広く見渡せる。また、学校内には、「高師小僧」の発祥地として、校庭の南側一部約165㎡が、昭和32年10月に愛知県の天然記念物に指定された場所がある。現在、全校生徒数は681名（通常19学級、特支3学級）で、2つの小学校から生徒が入学してくる。生徒は、学習、行事、部活動などに積極的に取り組んでいて、「体育祭」では3年生の集団演技、「合唱コンクール」での学年合唱、東海・全国大会に出場する部活動などもあり、充実した学校生活を送っている。

2 研究のねらい

学校の教育目標は「生命を尊ぶ心を培い、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育てる」となっている。そこでPTAでも、学校の目標である生徒の育成を支援するため、家庭や地域と連携し、学校への全面的な支援を旨としたPTA活動を実践するために、このテーマを設定した。

3 研究の仮説

学校と、家庭・地域が連携し、PTA活動を充実させ、学校の教育活動を支援していけば、学校がさらに活性化し、生徒が健やかに成長して、学校の教育目標の実現が図られるだろう。

4 研究の方法

(1) 組織と主な活動内容

役員会を中心として地区、学年、部活動の代表を委員として、年3回の総委員会を実施している。また、委員を3つの事業部に分けて活動に取り組んでいる。組織と活動内容は以下のとおりである。

役員会	年間計画、各事業の企画・運営	
総委員会	年間計画や予算、活動実施案等の審議	
生徒指導部	体育祭、夜店の巡回指導	資源回収の運営・協力 交通安全指導・あいさつ運動
広報部	PTA新聞の発行	
教養文化部	料理教室の企画・運営	

5 研究の実践

(1) 役員会・総委員会

ア 役員会

年間5回（4・5・7・9・1月）の役員会では、事業計画の具体的な提案や、情報交換を行っている。また役員会には前年度の会長と女性代表が顧問として入り、前年度の反省を生かした助言をしている。

イ 総委員会

年間3回（4・11・2月）の総委員会では、PTA総会や資源回収に関する件について審議している。特に11月の総委員会は、12月に実施する資源回収の準備会を兼ねており、事前の部会、生徒の通学団会を経て行っている。また前年度の委員も可能な限り加わり、反省を生かすとともに、確実に次の年度に引き継ぐことができるような会にしている。

（2） 生徒指導部

ア 体育祭の校内警備・指導

5月の体育祭の校内警備・指導を行っている。生徒指導担当職員とPTA生徒指導部員が交代で校内警備をしながら、生徒と話をしたり、体育祭を参観する保護者への対応をしたりしている。

イ 夜店巡回指導

6月の週末に実施される「豊橋夜店（納涼まつり）」の巡回指導を、教員といっしょに8回にわけて行っている。各学年の先生と巡回指導することで、まつりに来ている生徒に対して、安全で楽しく過ごせるように指導している。



生徒指導部の夜店巡回指導

（3） 広報部

ア PTA新聞の発行

年2回（7・3月）に「高師台中PTA」を発行している。紙面には、生徒の様子だけでなく、PTA活動も多数掲載して活度の様子を会員に伝えている。編集にあたって、部員が一堂に集まり、さまざまな角度から意見を交換して、よりよい新聞にしている。

（4） 地区委員・地区協力委員

ア 資源回収

12月に行う資源回収に向けて、9月から役員会や総委員会、生徒の通学団会等を経ながら準備を進めている。PTAの地区委員の他、各地区で資源回収のための地区協力委員をお願いしておき、PTA役員と全委員、協力委員が力を合わせて資源回収の準備と活動を行っている。当日は、生徒が分担して集めた資源をまとめて車で運搬したり、収集場所で安全管理を行ったりして、生徒の活動を積極的に支援している。



資源回収の様子

6 研究の考察

本校のPTA活動は、会員や地域の実態に応じて少しずつ変更しながら現在の活動に至っている。ただその本質は、学校や生徒の活動を積極的に支援することに変化はない。本年度も、時には前面に立ったり、時には生徒の土台となったりしてPTA活動を推進することができた。

7 成果と今後の課題

資源回収には前年度の委員の方をお願いすることになるが、子どもが卒業していると参加しにくいという意見がある。前年度からの引き継ぎを確実にして、前年度委員の方の協力を少なくする方法を考慮していく必要がある。